

2025 年 3 月 26 日



PRESS RELEASE

急増する先端デバイス需要に応える高精度非破壊検査で次世代テクノロジーの信頼性向上に貢献

世界最高水準の分解能 0.16 μ m で自動検査 ハイエンド X 線検査装置 TI-X900s を発売

2025 年 3 月発売

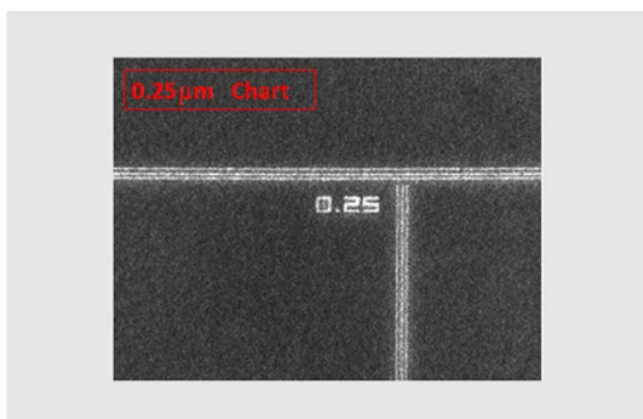
テクノホライゾン株式会社 (STANDARD: 証券コード 6629) (本社: 名古屋市南区千竈通二丁目 13 番地 1 代表取締役社長: 野村 拡張) は、これまでの X 線検査装置のラインナップに加え、世界最高水準の分解能 0.16 μ m で自動検査を行うハイエンド X 線検査装置 TI-X900s を 2025 年 3 月より発売いたします。



世界最高水準の分解能 0.16 μ m で自動検査、ハイエンド X 線検査装置 TI-X900s

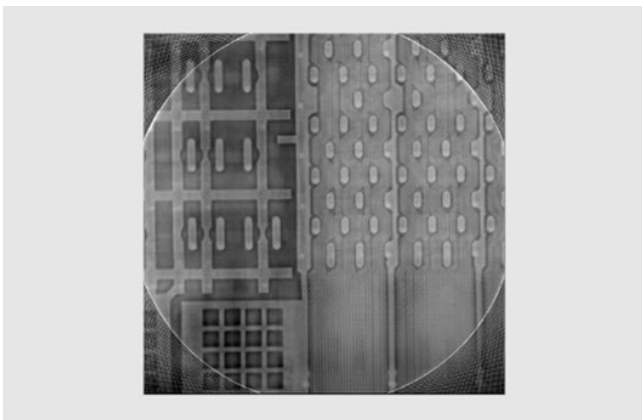
■ 特長

TI-X900s は発展的な発想による独自性・創造性を持ったハードウェアとアプリケーションにて持続的な品質管理に貢献します。



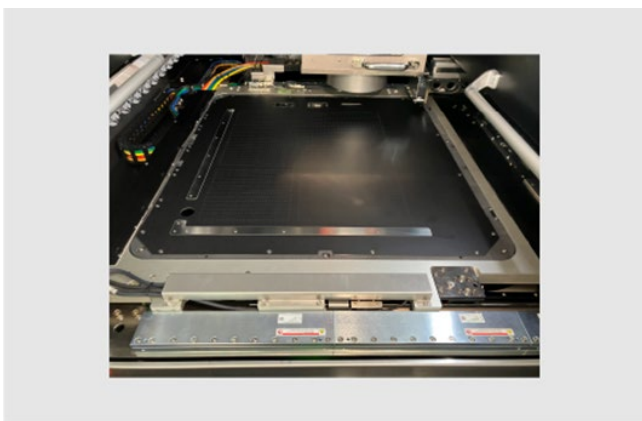
■ 高分解能撮像

従来機よりも分解能を高め、より高い解像度の画像撮影を実現し最先端半導体の検査に対応します。



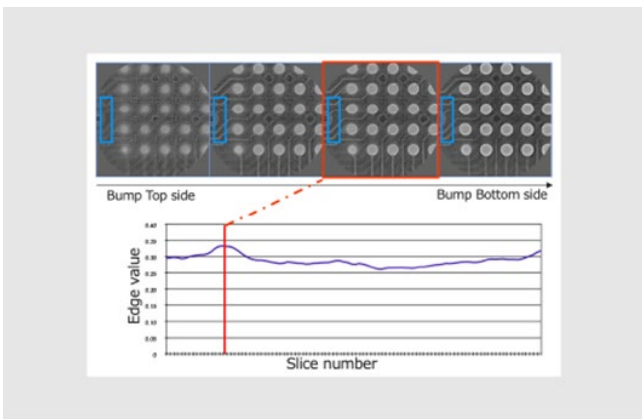
■ 高精細な 3D 画像

高精度リニアスケールによる XY ステージ位置決めで、クリアな高精細 3D 画像を取得します。



■ 大型ワーク対応

大型ワークテーブルにて、最大 600 × 620 サイズまで搭載可能で、見たいところを簡単に観察できます。



■ 自動検査精度技術

倍率追従による自動反り補正と撮像位置合わせ機能が備わっており、自動検査精度の向上に貢献します。

■ 主な仕様

型式	TI-X900s
対応ワーク	サイズ : 30 × 30 ~ 600 × 620 mm
視野サイズ	直視 : 0.35 × 0.45mm ~ 23.0 × 29.4 mm CT ; φ 0.32 ~ 20.5 mm

検査可能領域	直視 : 600 × 620 mm CT : 580 × 600 mm
X線発生管	透過型開放管マイクロフォーカス Diamond,LaB6 仕様
X線検出器	6.8Mpixels
最大傾斜角度	最大 60 度 (45 ~ 60 度可変)
幾何学分解能	直視 : 0.16 ~ 10.0 μm CT : 0.16 ~ 10.0 μm
画像スライス数	512 ※ 1,000 まで拡張対応可
投影数	8 ~ 360
X-Y 可動部	リニアモータ駆動、リニアスケール
供給エア圧力	0.5 ~ 0.6Mpa (φ8 チューブ 或いは 20PM)
電源電圧	単相 AC200~240V ±10% 50/60Hz
消費電力	10kVA 以下
使用環境条件	周囲温度 22℃ ± 2℃ 湿度 50% ± 10% RH
X線漏洩量	0.5 μSv/h 以下
外形寸法	W1,630 × D2,200 × H1,940 mm
重量	約 4,400 kg

-本プレスリリースの内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がある旨予めご了承ください。

詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

【この件に関するお問合せ先】

テクノホライゾン株式会社
〒457-0078 愛知県名古屋市南区塩屋町 1-3-4
電話: 052-811-5144 FAX: 052-824-7300
<https://www.technohorizon.co.jp/>
